

 県章	滋賀県公報	令和 8 年（2026 年） 7 月 22 日 号 外（1） 水曜 日
		毎週火・金曜 2 回発行

目次（※印は、県例規集に登載するもの）
○規則
※滋賀県事務委任規則の一部を改正する規則（人事課）..... 1
※滋賀県身体障害者福祉法施行細則の一部を改正する規則（障害福祉課）..... 1
※滋賀県医療法施行細則の一部を改正する規則（医療政策課）..... 14

規則

滋賀県事務委任規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和 8 年 7 月 22 日

滋賀県知事 三 日 月 大 造

滋賀県規則第 53 号

滋賀県事務委任規則の一部を改正する規則

滋賀県事務委任規則（昭和 55 年滋賀県規則第 10 号）の一部を次のように改正する。

第 7 条第 60 号中「第 8 条」を「第 8 条第 1 項」に改め、同条第 60 号の 2 の 2 中「または助産所の廃止」を「、助産所またはオンライン診療受診施設の廃止」に、「または助産所の開設者」を「もしくは助産所の開設者またはオンライン診療受診施設の設置者」に、「失そう」を「失踪」に改め、同号を同条第 60 号の 2 の 3 とし、同条第 60 号の 2 中「または助産所」を「、助産所またはオンライン診療受診施設」に改め、同号を同条第 60 号の 2 の 2 とし、同条第 60 号の次に次の 1 号を加える。

(60) の 2 同法第 8 条第 2 項の規定によるオンライン診療受診施設の設置の届出の受理

第 7 条第 60 号の 6 中「または助産所」を「、助産所またはオンライン診療受診施設」に改め、同条第 60 号の 8 の 2 中「第 4 条および第 4 条の 2」を「第 4 条第 1 項および第 3 項」に、「に係る」を「の変更の」に改め、同号の次に次の 2 号を加える。

(60) の 8 の 3 同施行令第 4 条第 4 項の規定によるオンライン診療受診施設の変更の届出の受理

(60) の 8 の 4 同施行令第 4 条の 2 の規定による診療所または助産所の開設および変更の届出の受理

付 則

この規則は、公布の日から施行する。

滋賀県身体障害者福祉法施行細則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和 8 年 7 月 22 日

滋賀県知事 三 日 月 大 造

滋賀県規則第 54 号

滋賀県身体障害者福祉法施行細則の一部を改正する規則

滋賀県身体障害者福祉法施行細則（昭和 34 年滋賀県規則第 27 号）の一部を次のように改正する。

別記様式第 3 号を次のように改める。

様式第3号（第4条関係）

補装具処方箋

（その1）

義手処方箋

氏 名				生年 月 日	年 月 日（ ） 歳		
住 所					TEL		
医学的 所 見	疾患名			切断 部位	左 右	職業 (具体的に)	
	障害名			断端長	cm		
種 目	殻構造・骨格構造			採型区分	A－（ ）		種目名称別コード
名 称	1. 肩義手用 2. 上腕義手用 3. 肘義手 4. 前腕義手 5. 手義手 6. 手部義手 7. 手指義手	型 式 ・ 基 本 価 格	1. 能動式 2. 電動式 3. その他 ☐ 装飾用 ☐ 作業用		加 算	1. 肩甲胸郭間切断用 2. 吸着式 3. 顎上懸垂式 4. スプリットソケット 5. チェックソケット ☐ シリコンまたはライナー ☐ 透明チェックソケット	

【製作要素価格】							
ソ ケ ッ ト	1. 皮革 2. 熱硬化性樹脂 3. 熱硬化性樹脂（電動式） 4. 熱可塑性樹脂 5. 熱可塑性樹脂（電動式）	イ ン サ ー ト	1. 皮革 2. 軟性発泡樹脂 3. 皮革・軟性発泡樹脂	支 持 部	殻構造		骨格構造
			1. 能動式 ☐ 肩部 2. 電動式 ☐ 上腕部 3. その他 a. 熱硬化性樹脂 b. 熱可塑性樹脂 ☐ 前腕部 a. 熱硬化性樹脂 b. 熱可塑性樹脂 ☐ 手部 ☐ 形状、接続部の修正		☐ 肩義手用 ☐ 上腕義手用 ☐ 肘義手用 ☐ 前腕義手用 ☐ 形状、接続部の修正		
義 手 用 ハ ー ネ ス	1. 肩義手用 a. 胸郭バンド式肩ハーネス一式 b. 肩たすき一式 2. 上腕義手用 3. 肘義手用 a. 胸郭バンド式上腕ハーネス一式 b. 肩たすき一式 c. 8字ハーネス一式 4. 前腕義手用 5. 手義手用 6. 手部義手用 a. 胸郭バンド式前腕ハーネス一式 b. 8字ハーネス一式 c. 9字ハーネス一式 d. たわみ継手（一組） e. Yストラップ f. 上腕カフ（三頭筋パッド）			外 装	殻構造		骨格構造
			☐ 肩部 a. 皮革 b. プラスチック c. 塗装 ☐ 上腕部 a. 皮革 b. プラスチック c. 塗装 ☐ 前腕部 a. 皮革 b. プラスチック c. 塗装		☐ 肩義手用 ☐ 上腕義手用 ☐ 前腕義手用		
断端袋	1. 上腕用 2. 前腕用						

【完成用部品を使う場合は部品名と必要な理由】	
完 成 用 部 品	

特記事項、使用者の希望事項等を記述すること			
(借受けの希望 有・無)			
処 方	年 月 日	仮合せ	年 月 日 良・不良
採 型	年 月 日	適 合 判 定	年 月 日

(その 2)

義足処方箋^{せん}

氏 名				生年 月 日	年 月 日 () 歳			
住 所					TEL			
医学的 所 見	疾患名			切断 部位	左 右	職業 (具体的に)		
	障害名			断端長	cm			
種 目	殻構造・骨格構造		採型区分	B - ()		種目名称別コード		
名 称 ・ 型 式	殻構造				骨格構造			
	1. 股義足							
	2. 大腿義足	a. 差込式	b. ライナー式	c. 吸着式	a. 差込式	b. ライナー式	c. 吸着式	
	3. 膝義足	a. 差込式	b. ライナー式	c. 吸着式	a. 差込式	b. ライナー式	c. 吸着式	
	4. 下腿義足	a. 差込式	b. PTB式	c. PTS式	a. 差込式	b. PTB式	c. PTS式	
		d. KBM式	e. TSB式		d. KBM式	e. TSB式		
	5. サイム義足							
	6. 足根中足義足	a. 足袋式	b. 下腿部支持式					
7. 足趾義足								
基本 価 格	1. 差込式	6. KBM式	加 算	1. 片側骨盤切断用				
	2. ライナー式	7. TSB式		2. 短断端切断用キャップシャフト				
	3. 吸着式	8. 有窓式		3. 坐骨収納型ソケット				
	4. PTB式	9. 足袋式		4. 大腿支柱付き				
	5. PTS式	10. 下腿部支持式		5. チェックソケット □シリコーンまたはライナー □透明プラスチック				

【製作要素価格】

ソ ケ ッ ト	1. 熱硬化性樹脂 2. 熱可塑性樹脂 3. 木製 4. 皮革 □エアクッションソケット □カーボンストックネット □下腿部支持式	イ ン ソ フ ト	1. 皮革 2. 軟性発泡樹脂 3. 皮革・軟性発泡樹脂 4. 皮革・フェルト 5. シリコーン	支 持 部	殻構造義肢		骨格構造義肢
	1. 股部 2. 大腿部 a. 木製 b. 熱硬化性樹脂 3. 下腿部 a. 木製 b. 熱硬化性樹脂 4. 足部 □土台修正 □鉄脚使用		1. 股義足用 2. 大腿義足用 3. 膝義足用 4. 下腿義足用 □土台修正				
義 足 懸 垂 用 部 品	1. 股義足用 a. 懸垂帶一式 2. 大腿義足用 a. シレジアバンド一式 b. 肩吊り帯 c. 腰バンド d. 横吊帯 e. 義足用股吊帯一式 4. 下腿義足用 5. サイム義足用 a. 腰バンド b. 横吊帯 c. 大腿コルセット一式 d. PTBカフベルト一式 e. 懸垂用膝カフ			外 装	殻構造義肢		骨格構造義肢
	1. 股部 a. 皮革 2. 大腿部 b. プラスチック 3. 下腿部 c. 塗装 4. 足部 d. リアルソックス				1. 股義足用 2. 大腿義足用 3. 膝義足用 4. 下腿義足用 □リアルソックス		
断端袋	1. 大腿用 2. 下腿用						

【完成用部品を使う場合は部品名と必要な理由】

完 成 用 部 品	
-----------------------	--

特記事項、使用者の希望事項等を記述すること			
(借受けの希望 有・無)			
処 方	年 月 日	仮合せ	年 月 日 良・不良
採 型	年 月 日	適 合 判 定	年 月 日

装具処方箋^{せん}

[illegible]

1. 下肢装具 a. 継手 (1) 股継手 (2) 膝継手 (3) 足継手 ☐ 固定式 ☐ 固定式 ☐ 固定式 ☐ 遊動式 ☐ 遊動式 ☐ 遊動式 ☐ プラスチック継手 ☐ プラスチック継手		c. その他の加算要素 ☐ 膝サポーター（支柱付き・支柱なし） ※オーダーメイドの処方理由
b. 支持部 (1) 大腿支持部 (2) 下腿支持部 (3) 足部 A 半月 A 半月 A あぶみ B 皮革等 B 皮革等 B 足部 1 カフバンド 2 大腿コルセット 1 カフバンド 2 下腿コルセット 1 足部覆い C 硬性 C 硬性 2 標準靴 1 熱硬化性樹脂 1 熱硬化性樹脂 3 硬性（熱硬化性樹脂） 2 熱可塑性樹脂 2 熱可塑性樹脂 4 硬性（熱可塑性樹脂） ☐ 大腿支持部坐骨支持式 ☐ 下腿支持部（PTB式・PTS式・KBM式） ☐ 足板の補強 ☐ カーボン使用（大腿支持部・下腿支持部・足部）		☐ キャリパー ☐ ツイスター（硬性・軟性） ☐ Denis-Browne（デニスブラウン）型 ☐ 膝当て ☐ T・Yストラップ ☐ スタビライザ ☐ ターンバックル ☐ アウトリガー ☐ 伸展・屈曲補助装置 ☐ 補高足部 ☐ 足底裏側（すべり止め用） ☐ 高さ調節 ☐ 内張り （大腿部・下腿部・足部・足底部） ☐ 足底装具屋内用ベルト
2. 靴型装具 a. 製作要素 ☐ グッドイヤー式 ☐ マックイ式 (a) 患側（整形靴・特殊靴） (b) 健側 ☐ 短靴 ☐ チャッカ靴 ☐ 短靴 ☐ チャッカ靴 ☐ 半長靴 ☐ 長靴 ☐ 半長靴 ☐ 長靴		
b. 付属品等の加算要素 ☐ 月型の延長 ☐ スチールパネ入り ☐ トウボックス補強 ☐ 鉛板の挿入 ☐ 足背ベルト ☐ ベルト（裏付き）の追加 ☐ 補高（敷き革式・靴の補高） ☐ ヒール補正（トルクヒール・ウェッジヒール等） ☐ 足底の補正（内側、外側ソールウェッジ・テンパーバー等）		

3. 体幹装具			
a. 支持部		b. その他の加算要素	
(1)頸椎支持部	(4)仙腸支持部	(1)体幹装具付属品	(2)側弯症装具付属品
A 硬性	A 硬性	☐ 高さ調整	☐ ミルウォーキー型付属品一式
1 支柱付き 2 支柱なし	1 支柱付き 2 支柱なし	☐ ターンバックル式	☐ 胸椎パッド
B フレーム	B フレーム	☐ 腰部継手	☐ 腰椎パッド
C カラー	C 軟性	☐ バタフライ	☐ ショルダーリング
1 あご受けあり 2 あご受けなし	D 骨盤帯	☐ 肩バンド	☐ 腋窩パッド
(2)胸椎支持部	1 芯あり 2 芯なし	☐ 会陰ひも	☐ ネックリング
A 硬性	(5)骨盤支持部	☐ 胸郭バンド	☐ アウトリガー
1 支柱付き 2 支柱なし	A 皮革	☐ 前方支柱	☐ 後方支柱
B フレーム	B 硬性	☐ 側方支柱	
C 軟性	☐ 硬性のサンドイッチ構造		
(3)腰椎支持部			
A 硬性			
1 支柱付き 2 支柱なし			
B フレーム			
C 軟性			
4. 上肢装具			
a. 継手		c. その他の加算要素	
(1)肩継手	(3)手継手	☐ 肘サポーター（支柱付き・支柱なし）	
A 固定式・B 遊動式	A 固定式・B 遊動式	☐ 末節骨パッド（硬性・フレーム）	
C 肩回旋装置	C プラスチック継手	☐ 中・末節骨パッド（硬性・フレーム）	
(2)肘継手	(4)MP継手	☐ 対立バー	
A 固定式・B 遊動式	A 固定式	☐ Cバー	
C プラスチック継手	1 硬性 2 フレーム	☐ アウトリガー	
	B 遊動式・C 鋼線支柱	☐ 伸展・屈曲補助パネ	
b. 支持部		☐ 膝当て	
(1)胸郭支持部	(3)上腕支持部	☐ ターンバックル	
A 硬性	A 半月	☐ フレクサーヒンジ	
B フレーム	B 皮革等	☐ 内張り（上腕部・前腕部・手部）	
(2)骨盤支持部	1 カフバンド		
A 硬性	2 上腕コルセット		
B フレーム	C 硬性		
	1 カフバンド		
	2 前腕コルセット		
	C 硬性		
	(5)手部背側パッド		
	A 硬性		
	B フレーム		
	(6)手掌パッド		
	A 硬性		
	B フレーム		

【完成用部品を使う場合は部品名と必要な理由】	
完 成 用 部 品	

【レディメイド】			
メーカー名		メーカー型番	
装具名称		種類	硬性・軟性（支柱付き・支柱なし）

特記事項、使用者の希望事項等を記述すること			
(借受けの希望 有・無)			
処 方	年 月 日	仮合せ	年 月 日 良・不良
採 型	年 月 日	適 合 判 定	年 月 日

(その4)

姿勢保持装置処方箋^{せん}

氏名				生年月日	年 月 日 () 歳			
住所						TEL		
医学的 所見	疾患名		身長 体重	cm / kg		職業 (具体的に)		
	障害名		移乗 能力	自立・半介助・介助		主な 使用場所	屋内 屋外 屋内外	
基本価格	1. 頭・頸部	☐ 採寸 ☐ 採型			【付属品】			
	2. 上肢	☐ 採寸 ☐ 採型 左・右			カットアウト テーブル	☐ カットアウトテーブル ☐ クッション張り ☐ テーブル取付部品		
	3. 体幹部	☐ 採寸 ☐ 採型						
	4. 骨盤・大腿部	☐ 採寸 ☐ 採型						
	5. 下腿・足部	☐ 採寸 左・右			上肢保持 部品	☐ アームレスト 左・右 ☐ 肘パッド 左・右 ☐ 縦型グリップ 左・右 ☐ 横型グリップ 左・右		
支持部	1. 頭・頸部	☐ 頭部支え			体幹保持 部品	☐ 頭頸部パッド ☐ 肩パッド 左・右 ☐ 胸パッド ☐ 胸受けロール ☐ 体幹パッド 左・右 ☐ 腰部パッド 左・右		
	2. 上肢	☐ 上肢支え 左・右 ☐ 前腕・手部支え 左・右				骨盤保持 部品	☐ 骨盤パッド 左・右 ☐ 臀部パッド 左・右	
	3. 体幹部	☐ 平面形状型 ☐ モールド型 ☐ 張り調整型						
	4. 骨盤・大腿部	☐ 平面形状型 ☐ モールド型 ☐ 張り調整型						
	5. 下腿部	☐ 下腿支え 左・右						
	6. 足部	☐ 足台 左・右						
	7. 加算要素	☐ フレックス構造						
支持部の 連結	1. 固定	☐ 頸部 ☐ 腰部 左・右 ☐ 膝部 左・右 ☐ 足部 左・右			下腿保持 部品	☐ 内転防止パッド ☐ 外転防止パッド 左・右 ☐ 膝パッド 左・右 ☐ 下腿保持パッド 左・右 ☐ 足部保持パッド 左・右		
	2. 遊動	☐ 腰部 左・右 ☐ 膝部 左・右 ☐ 足部 左・右						
	3. 角度調整用部品	☐ 機械式 ☐ ガス圧式 ☐ 電動式			ベルト用品	☐ 肩ベルト 左・右 ☐ 腕ベルト 左・右 ☐ 手首ベルト 左・右 ☐ 胸ベルト ☐ 骨盤ベルト ☐ 股ベルト ☐ 大腿ベルト 左・右 ☐ 膝ベルト 左・右 ☐ 下腿ベルト 左・右 ☐ 足首ベルト 左・右		
構造 フレーム	使用材料	☐ 木材 ☐ 金属						
	機構加算	1. ティルト機構 ☐ 機械式 ☐ ガス圧式 ☐ 電動式 2. 昇降機構 ☐ 機械式 ☐ ガス圧式 ☐ 電動式 3. 車椅子機能 ☐ 機械式 ☐ ガス圧式 ☐ 電動式						
	調節機構	1. 高さ調節	☐ 頭部支持部 ☐ 体幹支持部 ☐ 骨盤・大腿支持部 ☐ 足部支持部 左・右 ☐ アームサポート 左・右			支持部 カバー	☐ 頭部 ☐ 上肢 左・右 ☐ 体幹部 平面形状型 ☐ 体幹部 モールド型 ☐ 体幹部・張り調整型 ☐ 骨盤・大腿部 平面形状型 ☐ 骨盤・大腿部 モールド型 ☐ 骨盤・大腿部 張り調整型 ☐ 下腿部 左・右 ☐ 足部 左・右	
2. 前後調節		☐ 頭部支持部 ☐ 骨盤・大腿支持部 ☐ 足部支持部 左・右						
3. 角度調節		☐ 頭部支持部 ☐ テーブル						
4. 脱着機能		☐ 体幹パッド 左・右 ☐ 骨盤パッド 左・右 ☐ 膝パッド 左・右 ☐ アームサポート 左・右 ☐ 内転防止パッド			内張り		☐ アームレスト 左・右 ☐ テーブル	
5. 開閉機構		☐ アームサポート 左・右 ☐ 足部支持部 左・右			体圧分散 補助素材	☐ 頭部 ☐ 上肢 左・右 ☐ 体幹部 ☐ 骨盤・大腿部 ☐ 下腿部 左・右 ☐ 足部 左・右		
					キャスタ	☐ 標準 ☐ 多機能		
					その他	☐ 介護用グリップ 左・右 ☐ ストッパー ☐ 高さ調整用台座		

【完成用部品を使う場合は部品名と必要な理由】

完成用 部品			
-----------	--	--	--

特記事項、使用者の希望事項等を記述すること

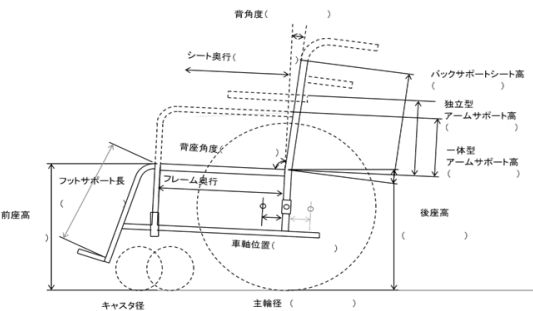
(借受けの希望 有・無)

処方	年 月 日	仮合せ	年 月 日 良・不良
採型	年 月 日	適判定	年 月 日

(その 5)

車椅子処方箋

氏 名		生年 月 日		年 月 日 () 歳	
住 所		TEL			
医学的 所 見	疾患名	身長 体重	cm / kg	職業 (具体的に)	
	障害名	移乗 能力	自立・半介助・介助	主な 使用場所	屋内 屋外 屋内外
基本価格		1. 標準 2. 頭頸部	本体	自走用・介助用	種目名称別 コード
a. 新規支給 (1 台)		b. 2 台同時支給	c. 再支給	a. モジュール (標準) b. オーダーメイド c. レディメイド	
機 構 加 算	1. リクライニング機構 2. ティルト機構 3. ティルト・リクライニング機構 4. リフト機構		基 本 構 造	1. 後方大車輪 (標準) 2. 前方大車輪 3. 6 輪構造	a. 幅止め構造 個
【構造部品加算】					
シ ー ト	1. スリング式 (標準) 2. 張り調整式 3. 板張り式	a. 奥行き調整構造	バック サポート	1. スリング式 (標準) 2. 張り調整式	a. ワイドフレーム b. バックサポート延長 c. 高さ調整構造 d. 背座角度調整 e. 背折れ構造
フ ット サ ポ ー ト レ ッ グ	1. 固定式 (標準) 2. 挙上式 3. 着脱式 4. 開閉着脱式 5. 挙上・開閉着脱式	a. レッグベルト全面張り	フット サポート	1. セパレート式 (標準) 2. セパレート式 (二重折込式) 3. 中折式	a. 前後調整 b. 角度調整 c. 左右調整
サ ー ブ ア ー ム	1. フレーム一体型 固定式 2. フレーム一体型 跳ね上げ式 3. フレーム一体型 着脱式 4. 独立型 固定式 5. 独立型 跳ね上げ式 6. 独立型 着脱式	a. 高さ調整構造 b. 角度調整構造 c. アームサポート幅広 d. アームサポート延長	ブレーキ		1. 駐車ブレーキ (標準) a. キャリパーブレーキ b. フットブレーキ
駆 動 輪 主 輪	1. 固定式 (標準) 2. 着脱式	a. 車軸位置調整構造 b. キャンバー角度変更 c. 片手駆動構造 d. レバー駆動構造	タイヤ	1. エア 2. ノーパンク	キャスタ 1. ソリッド 2. 衝撃吸収タイプ
ハ ン ド リ ム	1. プラスチック (標準) 2. ステンレス 3. アルミ	a. ピッチ 30mm 以上 b. 片手駆動構造	【付属品】 ヘッドサポート	1. 着脱式 (枕含む) 2. マルチタイプ (枕含む) 3. 枕 (オーダーメイド) 4. 枕 (レディメイド)	a. オーダー枕変更
【付属品】					
☐ クッション (カバー付き)		1. 平面形状型 2. モールド型	a. ゲル素材 d. 滑り止め加工	b. 多層構造 e. 防水加工	c. 立体編物
☐ 座板		a. クッション一体型			
☐ 背クッション		a. 滑り止め加工			
☐ ヒールループ 左・右		☐ 酸素ボンベ固定装置			
☐ アンクルストラップ 左・右		☐ 栄養バック取付用ガートル架			
☐ ステップカバー 左・右		☐ 点滴ポール			
☐ テーブル		☐ 日よけ			
☐ テーブル取付部品		☐ 雨よけ			
☐ 転倒防止装置 (パイプ)		☐ 泥よけ			
☐ 転倒防止装置 (キャスタ付き)		☐ スポークカバー			
☐ 呼吸器搭載台		☐ リフレクタ 個			
☐ 痰吸引器搭載台		☐ 高さ調整手押しハンドル 左・右			
☐ 携帯会話補助装置搭載台		☐ 滑り止めハンドリム			
☐ 車載用固定部品 個		☐ ノブ付きハンドリム			
☐ 杖たて (一本杖) 左・右		a. 水平ノブ			
☐ 杖たて (多点杖) 左・右		b. 垂直ノブ			
【付属品】 座位保持装置 製作要素					
【完成用部品を使う場合は部品名と必要な理由】					
種目名称別コード		メーカー名		製品名	
適 合 判 定	年 月 日		処 方	年 月 日	



(その6)

標準形電動車椅子処方箋^{せん}

氏 名				生年 月 日	年 月 日 () 歳		
住 所					TEL		
医学的 所 見	疾患名		身長 体重	cm / kg	職業 (具体的に)		
	障害名		移乗 能力	自立・半介助・介助	主な 使用場所	屋内 屋外 屋内外	
基本価格		1. 標準 2. 頭頸部	本体	1. 標準形 (低速用) 2. 標準形 (中速用)			
a. 新規支給 (1台)		b. 2台同時支給	c. 再支給	a. モジュール (標準) b. オーダーメイド c. レディメイド			
機 構 加 算	1. 手動リクライニング機構			バッテリー	1. シールドバッテリー		
	2. 電動リクライニング機構				2. リチウムイオンバッテリー		
	3. 電動ティルト機構			操作ボックス	1. 標準型		
	4. 電動ティルト・リクライニング機構			操作レバー	1. 感度調整 a. ばね圧変更		
	5. 電動リフト機構			スイッチ	1. 標準型 a. スイッチ延長 個		
【構造部品加算】							
シート	1. 板張り式 (標準) 2. スリング式 3. 張り調整式	a. 奥行き調整構造	バック サポート	1. スリング式 (標準) 2. 張り調整		a. ワイドフレーム b. バックサポート延長 c. 高さ調整構造 d. 背座角度調整 e. 背折れ構造	
サ レ ッ グ ト	1. 固定式 (標準) 2. 挙上式 3. 着脱式 4. 開閉着脱式 5. 挙上・開閉着脱式	a. レッグベルト全面張り	フット サポート	1. セパレート式 (標準) 2. セパレート式 (二重折込式)		a. 前後調整 b. 角度調整 c. 左右調整 d. 金属製フットサポート	
サ ポ ー ト ア ーム	1. フレーム一体型 固定式 2. フレーム一体型 跳ね上げ式 3. フレーム一体型 着脱式 4. 独立型 固定式 5. 独立型 跳ね上げ式 6. 独立型 着脱式		a. 高さ調整構造 b. 角度調整構造 c. アームサポート幅広 d. アームサポート延長	ブレーキ	1. 電動または電磁ブレーキ (標準)		
				タイヤ	1. エア (標準) 2. ノーパンク	キャスト	1. エア (標準) 2. ノーパンク
【付属品】							
☐ パワーステアリング ☐ クライマーセット ☐ 手動スイングアーム ☐ 電動チンコントロール一式 ☐ 手動チンコントロール一式 ☐ 多様入力コントローラ ☐ a. 非常停止スイッチボックス ☐ b. 4方向スイッチボード ☐ c. 8方向スイッチボード ☐ d. 小型ジョイスティックボックス ☐ e. フォースセンサ ☐ f. 足用ボックス ☐ 簡易1入力 ☐ ジョイスティックノブ 小/球/こけし U/十字/ペン/太長/T字/極小 ☐ ヒールループ 左・右 ☐ アンクルストラップ 左・右 ☐ ステップカバー 左・右		☐ テーブル ☐ テーブル取付部品 ☐ 呼吸器搭載台 ☐ 痰吸引器搭載台 ☐ 携帯会話補助装置搭載台 ☐ 車載用固定部品 個 ☐ 杖たて (一本杖) 左・右 ☐ 杖たて (多点杖) 左・右 ☐ 酸素ボンベ固定装置 ☐ 栄養パック取付用ゲートル架 ☐ 点滴ポール ☐ 日よけ ☐ 雨よけ ☐ 泥よけ ☐ スポークカバー ☐ リフレクタ 個 ☐ 高さ調整手押しハンドル 左・右		☐ クッション (カバー付き) 1. 平面形状型 2. モールド型 ☐ 背クッション ☐ ヘッドサポート 1. 着脱式 (枕含む) 2. マルチタイプ (枕含む) 3. 枕 (オーダーメイド) 4. 枕 (レディメイド)		a. ゲル素材 b. 多層構造 c. 立体編物 d. 滑り止め加工 e. 防水加工 a. 滑り止め加工 a. 枕オーダーメイド変更	
【付属品】 座位保持装置 製作要素				【特記事項】			
【完成用部品を使う場合は部品名と必要な理由】							
種目名称別コード				メーカー名/製品名			
適 合 判 定	年 月 日			処 方	年 月 日		

(その 7)

簡易形電動車椅子処方箋^{せん}

氏 名				生年 月 日	年 月 日 () 歳		
住 所					TEL		
医学的 所 見	疾患名		身長 体重	cm / kg	職業 (具体的に)		
	障害名		移乗 能力	自立・半介助・介助	主な 使用場所	屋内	屋外 屋内外
基本価格		1. 標準 2. 頭頸部		本体	1. 簡易形 (切替式) 2. 簡易形 (アシスト式)		
a. 新規支給 (1 台)		b. 2 台同時支給		c. 再支給	a. モジュール (標準) b. オーダーメイド c. レディメイド		
機構 加算	1. リクライニング機構 2. ティルト機構 3. ティルト・リクライニング機構			バッテリー	1. リチウムイオンバッテリー 2. ニッケル水素バッテリー		
				操作ボックス	1. 標準型		
基本 構造	1. 後方大車輪 (標準)		a. 幅止め構造	個	操作レバー	1. 感度調整 a. ばね圧変更	
					スイッチ	1. 標準型 a. スイッチ延長 個	
【構造部品加算】							
シート	1. スリング式 (標準) 2. 張り調整式 3. 板張り式		a. 奥行き調整構造	バック サポート	1. スリング式 (標準) 2. 張り調整式		a. ワイドフレーム b. バックサポート延長 c. 高さ調整構造 d. 背座角度調整 e. 背折れ構造
サ レ ッ グ ト	1. 固定式 (標準) 2. 挙上式 3. 着脱式 4. 開閉着脱式 5. 挙上・開閉着脱式		a. レッグベルト全面張り	フット サポート	1. セパレート式 (標準) 2. セパレート式 (二重折込式) 3. 中折式		a. 前後調整 b. 角度調整 c. 左右調整
サ ア ーム ポ ー ト	1. フレーム一体型 固定式 2. フレーム一体型 跳ね上げ式 3. フレーム一体型 着脱式 4. 独立型 固定式 5. 独立型 跳ね上げ式 6. 独立型 着脱式		a. 高さ調整構造 b. 角度調整構造 c. アームサポート幅広 d. アームサポート延長	ブレーキ	1. 駐車ブレーキ/電磁ブレーキ		
【付属品】							
☐ 手動スイングアーム ☐ 手動チンコントロール式 ☐ 多様入力コントローラ ☐ a. 非常停止スイッチボックス ☐ b. 4 方向スイッチボード ☐ c. 8 方向スイッチボード ☐ d. 小型ジョイスティックボックス ☐ e. フォースセンサ ☐ f. 足用ボックス ☐ 簡易 1 入力 ☐ ジョイスティックノブ 小/球/こけし U/十字/ペン/太長/T字/極小 ☐ ヒールループ 左・右 ☐ アンクルストラップ 左・右 ☐ ステップカバー 左・右		☐ テーブル ☐ テーブル取付部品 ☐ 呼吸器搭載台 ☐ 痰吸引器搭載台 ☐ 携帯会話補助装置搭載台 ☐ 車載用固定部品 個 ☐ 杖たて (一本杖) 左・右 ☐ 杖たて (多点杖) 左・右 ☐ 酸素ボンベ固定装置 ☐ 栄養パック取付用ガートル架 ☐ 点滴ボール ☐ 日よけ ☐ 雨よけ ☐ 泥よけ ☐ スポークカバー ☐ リフレクタ 個 ☐ 高さ調整手押しハンドル 左・右 ☐ 滑り止めハンドリム		☐ クッション (カバー付き) 1. 平面形状型 2. モールド型 ☐ 背クッション ☐ ヘッドサポート 1. 着脱式 (枕含む) 2. マルチタイプ (枕含む) 3. 枕 (オーダーメイド) 4. 枕 (レディメイド)		a. ゲル素材 b. 多層構造 c. 立体編物 d. 滑り止め加工 e. 防水加工 a. 滑り止め加工 a. 枕オーダーメイド変更	
【付属品】 座位保持装置 製作要素							
【完成用部品を使う場合は部品名と必要な理由】							
種目名称別コード				メーカー名/製品名			
適 合 判	年 月 日			処 方	年 月 日		

別記様式第 6 号総括表中

「

② 原因となつた 疾病・外傷名	交 通、労 災、そ の 他 の 事 故、戦 傷 戦災、疾病、先天性、その他（ ）
--------------------	--

」を

「

② 原因となつた 疾病・外傷名	交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、 自然災害、疾病、先天性、その他（ ）
--------------------	--

」に、「両眼失明」を

「両眼視力障害」に、「角膜混濁」を「緑内障」に改め、「診断書」の右に「・意見書」を加え、同様式視覚障害の状況および所見を次のように改める。

視覚障害の状況および所見

1 視力

	裸眼視力	矯正視力						
右眼		×	D	⊖	cy 1	D	Ax	°
左眼		×	D	⊖	cy 1	D	Ax	°

2 視野

ゴールドマン型視野計

(1) 周辺視野の評価（Ⅰ／4）

① 両眼の視野が中心10度以内

	上	内上	内	内下	下	外下	外	外上	合計	
右										度（≤80）
左										度（≤80）
② 両眼による視野が2分の1以上欠損（はい・いいえ）										

(2) 中心視野の評価（Ⅰ／2）

	上	内上	内	内下	下	外下	外	外上	合計	
右									①	度
左									②	度

(①と②のうち大きい方) (①と②のうち小さい方)

両眼中心
視野角度（Ⅰ／2） (× 3 +) / 4 = 度

または

自動視野計

(1) 周辺視野の評価

両眼開放エスターマンテスト 両眼開放視認点数 点

(2) 中心視野の評価（10－2プログラム）

右	③	点（≥26dB）
左	④	点（≥26dB）

(③と④のうち大きい方) (③と④のうち小さい方)

両眼中心視野
視認点数 (× 3 +) / 4 = 点

3 現症

	右	左
前眼部		
中間透光体		
眼底		

視
野
コ
ピ
ー
貼
付

(注) ゴールドマン型視野計を用いた視野図を添付する場合には、どのイソプタがⅠ／４の視標によるものか、Ⅰ／２の視標によるものかを明確に区別できるように記載すること。

別記様式第 6 号聴覚、平衡、音声、言語またはそしやくの機能障害の状況および所見中「の状況」を「の状態」に、「仮性球麻痺」を「仮性球まひ」に、「診断書の」を「診断書・意見書の」に改め、同様式肢体不自由の状況および所見中「ので半介助の解釈になります」を削り、同様式脳原性運動機能障害用中

「 | e 健側のそで口のボタンをとめる。（・可能 ・不可能） | 」を

「 | e 健側のそで口のボタンをとめる。（・可能 ・不可能）
ウ 上肢の具体的な状態（5 歳以上については記載すること。） | 」

おもちゃ にも手を 伸ばせな い	食事やお もちゃに 手を伸ば せる	目的動作 が一部で きるが実 用的でな い	粗大な目 的動作は 可能だが 微細な日 常生活の 運動はで きない	簡単なレ ベルであ れば、微 細運動も できるが 高度・複 雑な微細 運動はで きない	微細運動 も可能だ が、社会 での日常 生活に影 響があり、 高度複雑 なものは 支障が出 ることも ある	高度・複雑 な微細運 動も可能 だが、不 器用さが ある
()	()	()	()	()	()	()

※知的障害、発達障害等の影響 (有 ・ 無)

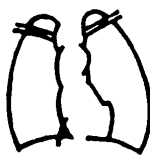
臓の機能障害の状況および所見（18 歳以上用）中「かこむ」を「囲む」に、「キ 浮 腫」を「キ 心 臓 浮 腫」

「 7 ペースメーカ (有 人工弁移植、弁置換

に、「ア 陳旧性心筋硬塞」を「ア 陳旧性心筋梗塞」に、

・ 無) 「 7 ペースメーカ (有 (年 月 日) ・無) に改め、
(有 ・ 無) を 人工弁移植、弁置換 (有 (年 月 日) ・無) 」

同様式心臓の機能障害の状況および所見（18 歳未満用）中

「  心胸比 | 「  心胸比 (%) | 」

め、同様式腎臓の機能障害の状況および所見中

「 | オ 尿 所 見 () | 」を

「 | オ 尿 所 見 ()
カ 推算糸球体濾過値 (eGFR) (ml/分/1.73m²) | 」に、「10¹/mm³」を

「10⁴/mm³」に、「障害の判定」を「障害程度の認定」に、「判定する」を「行う」に改め、同様式ぼうこうまたは直腸の機能障害の状態および所見中

「 (ストマおよびびらんの部位等を図示) 「 (腸瘻およびびらんの部位等を図示)
(3) 高度の排便機能障害 を (3) 高度の排便機能障害 に、
」 (3) 高度の排便機能障害 」

「 | 2 1～3 の各障害および障害程度の等級の欄においては、該当する項目に○をし、必要事項を記述する | 」を

- 「
- 2 1～3の各障害および障害程度の等級の欄においては、該当する項目に○をし、必要事項を記述すること。
- 3 障害認定の対象となるストマについては、排尿・排便のための機能をもち、永久的に造設されるものに
に限る。
- 」

改め、同様式ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害の状況および所見（13歳以上用）中「機能障害の状況」を「機能障害の状態」に改め、同様式ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害の状況および所見（13歳未満用）中「機能障害の状況」を「機能障害の状態」に、「こうくういん口腔咽頭ガンジタ症」を「こうくういん口腔咽頭カンジダ症」に、「肺血症」を「敗血症」に改める。

付 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 この規則の施行の際にある改正前の別記様式第3号および別記様式第6号による用紙は、当分の間、所要の調整を加えて使用することができる。

滋賀県医療法施行細則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和8年7月22日

滋賀県知事 三 日 月 大 造

滋賀県規則第55号

滋賀県医療法施行細則の一部を改正する規則

滋賀県医療法施行細則（昭和36年滋賀県規則第6号）の一部を次のように改正する。

- 第1条第7号の次に次の1号を加える。
- (7)の2 規則第5条の2の規定によるオンライン診療受診施設設置届 別記様式第7号の2
- 第1条第8号の次に次の1号を加える。
- (8)の2 令第4条第4項の規定によるオンライン診療受診施設設置届出事項変更届 別記様式第8号の2
- 第1条第9号中「病院（診療所・助産所）休止（再開・廃止）届」を「病院（診療所・助産所）廃止（休止・再開）届」に改め、同条第9号の2中「開設者死亡（失そう）届」を「開設者死亡（失踪）届」に、「別記様式第9号の2」を「別記様式第9号の3」に改め、同号を同条第9号の3とし、同号の次に次の1号を加える。
- (9)の4 法第9条第2項の規定によるオンライン診療受診施設設置者死亡（失踪）届 別記様式第9号の4
- 第1条第9号の次に次の1号を加える。
- (9)の2 法第8条の2第2項および第9条第1項の規定によるオンライン診療受診施設廃止（休止・再開）届 別記様式第9号の2
- 第1条第20号の3の次に次の2号を加える。
- (20)の4 規則第27条の3第1項の規定による診療用放射性同位元素使用器具備付届 別記様式第20号の4
- (20)の5 規則第27条の3第2項の規定による診療用放射性同位元素使用器具使用予定届 別記様式第20号の5
- 第2条第1項中「から第9号の2まで」を「、第9号、第9号の3」に改め、同条第2項中「第8号」を「第8号、第9号、第9号の3、第10号」に改める。

別記様式第1号中 「 病 院 開 設 許 可 申 請 書 を
診 療 所 」

「
※ ウェブ事前登録方式コンビニ決済を利用した場合
申請用番号 S G — —
」

に改める。

病 院 開 設 許 可 申 請 書
診 療 所

別記様式第2号中 「 助 産 所 開 設 許 可 申 請 書 」 を

「

※ ウェブ事前登録方式コンビニ決済を利用した場合 申請用番号 S G — —
--

に改める。

助 産 所 開 設 許 可 申 請 書

別記様式第 4 号中

備 考		を
-----	--	---

オンライン 診療の実施	有 ・ 無	に
備 考		」

改める。
別記様式第 6 号中「医療法第 8 条」を「医療法第 8 条第 1 項」に、

備 考		を
-----	--	---

オ ン ラ イ ン 診 療 の 実 施	有 ・ 無	に
備 考		」

改める。
別記様式第 7 号中「第 8 条」を「第 8 条第 1 項」に改め、同様式の次に次の 1 様式を加える。

様式第 7 号の 2

オンライン診療受診施設設置届

年 月 日

(宛先)
滋賀県 保健所長

届出者（設置者） 住所 〒

電話番号

氏名

（法人にあつては、主たる事務所の所在地、電話番号、名称および代表者の氏名）

次のとおりオンライン診療受診施設を設置したので、医療法第 8 条第 2 項の規定により届けます。

施 設 の 名 称	
設 置 の 場 所	〒 電話番号
敷 地 の 面 積 お よ び 平 面 図	(別紙の添付でも可)
建物の構造概要および平面図	(別紙の添付でも可)
(法 人 の 場 合) 定 款、寄 附 行 為 また は 条 例	
(法 人 の 場 合) 管 理・運 営 責 任 者 の 氏 名 お よ び 連 絡 先	電話番号
設 置 年 月 日	

- 注 1 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とします。
- 2 車両をオンライン診療受診施設として届け出る場合は、次のとおり記載してください。
- (1) 「設置の場所」の欄については、当該車両が日常的に駐車している場所および巡回予定地区を記載してください。また、届出は巡回する地区を管轄する都道府県、保健所設置市または特別区に提出してください。
- (2) 「敷地の面積および平面図」の欄については、記載は不要です。
- (3) 「建物の構造概要および平面図」の欄については、当該車両の車種、車名および車両番号を記載してください。

別記様式第 8 号注 3 中「第 8 条」を「第 8 条第 1 項」に改め、同様式の次に次の 1 様式を加える。

様式第 8 号の 2

オンライン診療受診施設設置届出事項変更届

年 月 日

(宛先)
滋賀県 保健所長

届出者（設置者） 住所 〒

電話番号

氏名

（法人にあつては、主たる事務所の所在地、電話番号、名称および代表者の氏名）

次のとおりオンライン診療受診施設の設置届出事項の一部を変更したので、医療法施行令第 4 条第 4 項の規定により届けます。

施 設 の 名 称		
設 置 の 場 所	〒 電話番号	
変 更 し た 理 由		
変 更 し た 年 月 日		
変 更 し た 事 項	変 更 前	変 更 後

- 注 1 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とします。
- 2 敷地の面積を変更したときは、変更部分の新旧が対照できる平面図を添付してください。
- 3 建物の構造設備を変更したときは、変更部分の新旧が対照できる平面図を添付し、その構造設備の概要を記入してください。
- 4 その他変更内容に応じて、当該変更内容の新旧が対照できる書類を添付してください。

別記様式第 9 号の 2 を次のように改める。

様式第 9 号の 2

オンライン診療受診施設廃止（休止・再開）届

年 月 日

(宛先)
滋賀県 保健所長

届出者（設置者） 住所 〒

電話番号

氏名

（法人にあつては、主たる事務所の所在地、電話番号、名称および代表者の氏名）

次のとおりオンライン診療受診施設を廃止（休止・再開）したので、医療法第 9 条第 1 項（第 8 条の 2 第 2 項）の規定により届けます。

施 設 の 名 称	
設 置 の 場 所	〒 電話番号
廃 止 （ 休 止 ・ 再 開 ） 年 月 日	
廃 止 （ 休 止 ・ 再 開 ） の 理 由	
（ 休 止 の 場 合 ） 再 開 予 定 年 月 日	

注 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とします。

別記様式第 9 号の 2 の次に次の 2 様式を加える。

様式第9号の3

病 院
診 療 所 開設者死亡（失踪）届
助 産 所

年 月 日

(宛先)
滋賀県知事
滋賀県 保健所長

届出者 住所 〒

電話番号

開設者との続柄

氏名

次のとおり病院（診療所、助産所）の開設者が死亡した（失踪の宣告を受けた）ので、医療法第9条第2項の規定により届けます。

開 設 者	住 所	〒
	氏 名	
病院、診療所、助産所の名称		
病院、診療所、助産所の所在地		〒 電話番号
死 亡 （ 失 踪 の 宣 告 ） 年 月 日		

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

様式第 9 号の 4

オンライン診療受診施設設置者死亡（失踪）届

年 月 日

(宛先)
滋賀県 保健所長

届出者 住所 〒

電話番号

設置者との続柄

氏名

次のとおりオンライン診療受診施設の設置者が死亡した（失踪の宣告を受けた）ので、医療法第 9 条第 2 項の規定により届けます。

設 置 者	住 所	〒
	氏 名	
施 設 の 名 称		
設 置 の 場 所		〒 電話番号
死 亡 （ 失 踪 の 宣 告 ） 年 月 日		

注 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とします。

「病 院
別記様式第17号中 診 療 所 使 用 許 可 申 請 書 を
助 産 所 」

「

※ ウェブ事前登録方式コンビニ決済を利用した場合
申請用番号 SG — —

に改める。

病 院
診 療 所 使 用 許 可 申 請 書
助 産 所 」

別記様式第19号中「から」を「ので」に、「診療中」を「治療中」に、「収容する」を「入院させる」に改める。

別記様式第20号中「診療中」を「治療中」に、「収容する」を「入院させる」に改める。

別記様式第20号の3の次に次の2様式を加える。

様式第20号の4

診療用放射性同位元素使用器具備付届

年 月 日

(宛先)
滋賀県知事
滋賀県 保健所長

届出者（管理者）.....

次のとおり診療用放射性同位元素使用器具を備え付けたいので、医療法第15条第3項の規定により届けます。

病院または診療所の 名称および所在地														
その年に使 用を予定す る診療用放 射性同位元 素使用器具 に装備する 放射性同位 元素	種 類		診療用放射性同位元 素使用器具の種類ご とのベクレル単位に よる最大貯蔵予定数 量、1日の最大使用 予定数量および3月 間の最大使用予定数 量				種 類	最大貯蔵 予定数量	1日の最大使 用予定数量	3月間の最大 使用予定数量				
	形 状													
	数 量		Bq											
診療用放射性同位元素使用器具使用室の障害防止措置の詳細														
使用室の 構造設備	出入口	箇所		標識	有 無		準備室の 構造設備	洗浄設備 の概要						
	壁、床等汚染部 分の障害防止構 造設備の概要							換気設備 の概要						
診療用放射性同位元素使用器具貯蔵施設の障害防止措置の詳細														
貯蔵室の 構造設備	外部との 区画状況				主要構造 部の構造		貯蔵容器 の構造		鉛当 量		標 識	有 無	容 器 の 構 造	
	出入口	箇所	標識	有 無	閉鎖設 備器具		運搬容器 の構造		鉛当 量		標 識	有 無	容 器 の 構 造	
診療用放射性同位元素使用器具廃棄施設の障害防止措置の詳細														
排水設備または焼却炉その 他の廃棄設備の障害防止構 造設備の概要														
診療用放射性同位元素使用器具により治療中の患者を入院させる病室の障害防止措置の詳細														
画壁の防護				標識			その他の障 害防止措置							
診療用放射性同位元素使用器具を使用する医師または歯科医師の氏名および経歴														
氏名		職種名		放射線診療に関する経歴										
				年 月免許取得（番号 ）										

添付書類

診療用放射性同位元素使用器具使用室、貯蔵施設、廃棄施設および病室の平面図（それぞれの防護物（画壁の鉛当量は、合成値で表してください。）、出入口の箇所、標識の場所を明記し、隣接室名および上下階の室名その他隣接箇所の名称を記載してください。）

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

様式第20号の5

診療用放射性同位元素使用器具使用予定届

年 月 日

(宛先)
滋賀県知事
滋賀県 保健所長

届出者(管理者).....

来年に使用を予定する診療用放射性同位元素使用器具は次のとおりであるので、医療法第15条第3項の規定により届けます。

病院または診療所の 名称および所在地		
使用を予定する診療 用放射性同位元素使 用器具に装備する放 射性同位元素	使用予定年 区 分	年
	種 類	
	形 状	
	数 量	Bq

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

別記様式第21号中「種類毎」を「種類ごと」に、「診療中」を「治療中」に、「収容する」を「入院させる」に、「出入口の」を「、出入口の」に改める。

別記様式第23号および別記様式第24号中	「	診療用エックス線装置	「	診療用エックス線装置
		診療用高エネルギー放射線発生装置		診療用高エネルギー放射
		診療用粒子線照射装置		診療用粒子線照射装置
		診療用放射線照射装置	を	診療用放射線照射装置
		診療用放射線照射器具		診療用放射線照射器具
		放射性同位元素装備診療機器		放射性同位元素装備診療
		診療用放射性同位元素	」	診療用放射性同位元素使
				診療用放射性同位元素

線発生装置

に改める。

機器
用器具

」
付 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現にある改正前の滋賀県医療法施行細則に定める様式による用紙は、当分の間、所要の調整を加えて使用することができる。

